

## 令和2年度 大阪府食育推進計画評価審議会

- 審議開始日：令和3年3月22日
- 承認日：令和3年4月5日（書面審議による）
- 委員：池上委員、伊藤委員、大川委員、木山委員、久保委員、多門委員  
中井委員、南野委員、春木委員、藤井委員、藤原委員、三宅委員  
12名（50音順）

### 議題（1）「第3次大阪府食育推進計画」の推進状況について

原案のとおり承認

#### 【委員の意見】

- ・朝食欠食割合の悪化が低年齢層にまで広がっている、野菜摂取量は改善傾向にあるが絶対量が不足、ホームステイの下でも共食回数が低迷といった総括表を見ると、「概ね予定通り」と判断を下すのは少し甘い。目標に向けてピントの合った手段になっているかを再検討する段階ではないか。
- ・食体験や食品事業者との連携は進んでいるが、家庭やライフステージに応じた取り組みは改善余地がある。家族の形態もライフスタイルも多様化しているので、一番課題の大きい対象を抽出して集中的な対応策をとることを考えてはどうか。
- ・栄養バランスのとれた食生活を実践する府民の割合の増加がすでに2023年度の目標値を上まわっているのが素晴らしいと思った。コロナ禍のため地域や所属コミュニティで共食したいと思う人が共食した割合が減少するのは仕方がないと思う。
- ・塩分への対応が厳しくなっている中、これ以上どのように減塩を進めていくのかを啓発する必要があると思われる。
- ・「概ね予定どおり」とのことであるがデータ上そのようになっているが実感がない。この計画が効果があるのか検証するために令和3年度すべての取り組みを中止してその結果数値がどのように変化するかを見定めるのもよいのではないかと考える。予算をコロナ関連に充当する方がベターではないか。
- ・現状改善にあたり、適切な取組の評価が必要。
- ・コロナ禍においても、おおむね予定通りに進捗していることに安堵した。

### 議題（2）「第3次大阪府食育推進計画」の中間点検・見直しについて

原案のとおり承認

#### 【委員の意見】

- ・中間点検を延期せざるを得ない状況なので、実施時期の変更はやむを得ないが、可能な範囲で早期かつリアルな評価審議会の開催を希望する。
- ・コロナ禍のため仕方がない。
- ・コロナの状況次第で予定が大きく変わる可能性がある。柔軟に考えるべき。